



はごろもだより

令和8年1月27日
宜野湾市立はごろも幼稚園
TEL 892-2665
仲松 由喜子

友達と思いを伝え合い、助け合い、育ち合い…実り豊かな3学期

3学期は、仲間意識が深まり、自分たちの力でできることが増え、自信をもって進め充実していく学期です。「発達の姿」では、年中児：「もうすぐ年長児！友達のつながりを広げ思いや考えを出し合いながら生活を楽しむ時期」年長児：「1年生に向かう喜びを感じて！自信をもって自分たちの生活を進める時期」となっています。

さて、本園での実際の子ども達の姿を見てみると、遊びに必要なルールを提案したり守ったりし集団で遊びを進める姿（年長児ドッジボールの場面）、自分の役割をもち友達と気持ちを合わせながら取り組む（発表会へ取り組む姿）、年長児との関わりをより楽しみ一緒に遊ぶ年中児、教師の援助を受けながら自分たちで、活動に必要な準備片付けを進めたり、意欲的に当番活動をする姿（年中児）など、育ちを感じる場面が多く見られています。



1月21日、はごろも小学校校区の各校種職員を対象とし、本園で公開保育と研修会を行いました。この研修会は、宜野湾市幼小中連携事業の一つです。はごろも小学校全職員、近隣幼児教育施設職員、行政の方々と総勢50名以上の参加がありました。保育参観のあとは、講師の大湾由美子先生、園長先生のお話を通して、「子どもの発達の連続性」や「接続の切れ目ない援助」について再確認することができました。

参加者の先生方からの感想では「子どもの発達は連続しているため、幼稚園での活動を知って小学校につなげることは大切だと改めて感じた」「幼児期から主体的で対話的な深い学びをしており、それが小学校以降につながることを学んだ」「年中、年長2学級の保育を参観し、年中での温かい関わりが基盤とし、年長では集団の中での育ちにつながっている」など多くのご感想がありました。

今年度、はごろも幼小では年長児から小学1年生までの2年間（架け橋期）において、子ども達がスムーズに小学校生活に移行できるようカリキュラムを作成しています。この日は、その「架け橋カリキュラム」も参加者と共有することができました。



年長児、「これから遊戯室へ向かいいます！」移動も楽しく！

伝承遊びの様子。ルールの必要性に気づき守る姿が見られました。

年中児。安心して話せる雰囲気の中で、話合いや読み聞かせなど。

後半の研修会の様子。意見交換、講話など有意義な研修でした。

おねがい

- 近日、スクリリにて『保護者評価』を配信します。今年度を振り返り、次年度以降の運営に活かしていきたいと思っていますので、ご回答をお願いします。
- 修了式（3/17）は、年長児保護者は参加となります。年中児も参加を考えています。今年度は幼稚園の閉園セレモニーも予定としています。詳細は後日お伝えしていきます。